



第 70 号
 発行人
 福 井 県 剣 道 連 盟
 理事長 市 橋 和 廣
 事務局
 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7
 榊マルツ電波二の宮店 付属舎
 TEL・FAX (0776)28-6616
 メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

ご挨拶



福井県剣道連盟
 会長 土谷 靖彦

新年明けましておめでとうございます。平成二十三年の新春を皆様方が健やかに迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

さて、昨年、当連盟が行った新しい取組みとして、級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」を採り入れたことが上げられます。これは、平成二十四年度から始まる中学校体育での武道必修化に向けた全日本剣道連盟の方針を踏まえ、本県でも級位審査方法に新たに加えることとしたものです。当面は、各地区剣道連盟が行う講習を受講し、修了したことをもって合格としていますが、「竹刀は日本刀である」という観念で「剣の理法」を修得することを念頭に置いたこの基本技稽古法をしっかり身に付け、普段の稽古や試合に活かしていただきたいと思えます。

八月に富山県で開催された北信越国民体育大会では、本県選手団の健闘が光りました。成年女子と少年男子が第一位となり、千葉県での国民体育大会への出場権を獲得しました。少年女子は惜しくも第二位の結果でした。十月の千葉国体では、成年男子、成年女子、

少年男子いずれも一回戦で敗れましたが、強豪チームと互角に試合を展開し、今後につながる試合内容だったと思えます。

このほか、全日本都道府県対抗剣道優勝大会（四月）、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会（六月）、全国教職員剣道大会（八月）、全国高等学校総合体育大会（八月）、全国中学校剣道大会（八月）、全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会（九月）、全日本女子剣道選手権大会（九月）、全国健康福祉祭剣道交流大会（十月）、全日本居合道大会（十月）、全日本剣道選手権大会（十一月）等、各種各層の選手の皆さんが本県代表として全国大会に挑み、あと一步のところで入賞には及びませんでした。それぞれが実力を出し切り手応えをつかまれたことと思います。

二〇一八年の二巡目福井国体に向けては、八月に県の準備委員会が発足し、今後、各競技の会場地選定等の作業を進めることとしていきます。当連盟として、今年の山口国体、さらには七年後の二巡目福井国体を目指し、小中高一般が一貫した方針の下で選手強化を行い、一歩一歩着実な成果を上げることが期待いたします。

組織・体面では、大飯地区剣道連盟の発足や法人化検討委員会による法人化の調査・研究といった新たな展開がありました。今年も、様々な意見を出し合いながら、一丸となって本県剣道界を盛り立てるべく、皆様方のお力添えをいただきますようお願いいたします。

平成二十三年が明るく希望に満ちあふれた年となりますことを願います。まずとともに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を、心からご祈念申し上げます。そして、新年のご挨拶いたします。



福井県剣道連盟

剣道・居合道初稽古

●平成二十三年一月九日(日) ●於 県立武道館

年末からの雪が残る寒さ厳しい中、平成二十三年福井県剣道連盟 剣道・居合道初稽古が開催されました。

県内各地区から、小中高生、大学生、一般計約一二〇名が参加し、稽古始め式に続き、剣道と居合道に分かれて稽古を開始しました。

剣道は剣道大道場において、全員での素振りの後、一般が元に立って

学生が掛かる地稽古、一般・

学生に分かれての地稽古、

七段以上の先生方が元立つての地稽古等、

およそ一時間半にわたって、

熱気溢れる稽古を行いました。

居合道は剣道小道場において、二人一組で形の稽古を行いました。

居合道は剣道小道場において、二人一組で形の稽古を行いました。



張り詰めた空気の中、体さばき、刀の操作等、技一つひとつの正確性を意識し、緊張感のある充実した稽古となりました。

また、稽古始め式に先立ち、全日本剣道連盟「剣道有功賞」を受賞された若狭地区剣道連盟 田村周山先生の表彰式が行われ、土谷会長から顕彰状やメダルが授与されました。

審判法講習会

平成二十二年九月十二日(日) 於 福井県立武道館

審判技術

審判員の質の向上を目的とし、県内各地域・

職域の指導者を対象に

審判法の講習会を開催

いたしました。

講師には平成二十

一年度全日本選抜剣道

八段優勝大会において優勝された範士八段濱崎

満先生をお迎えしました。

最初に、審判の重要性や責務についてお話しをお聞きしましたが、斬新で理解しやすい内容でありました。

引き続き行われた試合形式の審判実技演習では、「審判員の姿勢、態度、有効打突の見極め及び禁止行為の的確な判断」等についてご指導いただきました。

特に有効打突については、その都度試合を中断し、その理由についての詳細な説明がありま



した。また、審判技術を向上させるには自らが稽古を積み重ねることと指摘され、受講者は納得し更なる研鑽の必要性を痛感しました。

実技演習終了後は濱崎先生から指導稽古をいただき、受講生は先生の円熟した技の素晴らしさを肌で感じ取ることができました。

今回の講習会を終え、受講生からは「大変実り多き講習会であった。今後このような機会があればぜひ参加をしたい。」という言葉が多く聞かれました。



各地区剣道連盟会長あいさつ

三方地区剣道連盟

会長 小西清光



小堀源治郎前会長の後を受け、間もなく五年になります。

郷土の偉人佐久間勉艇長の精神を『沈着勇断』と表現され、生涯、剣道を通じて実践され、多くの人材を育成されました。その精神は今も子どもたちや、保護者、会員の心の中に脈々と生きており、その功績を風化させないためにも毎年十月に小堀源治郎先生記念剣道大会（午前講習会、午後試合・稽古会、偲ぶ会）を行っております。

三方地区連盟は平成十七年の町村合併により旧三方郡に旧上中町を加え、若狭町と美浜町を合わせた基盤に拡大いたしました。

旧三方町内の全小学校には従来より剣道教室があり、美浜、上中を加えて、現在九つの教室で小学生が稽古に取り組んで、毎年二月十一日の少年剣道大会で優勝を争います。ほとんどの教室の練習日は週一回ですが、多くの若手が指導者として剣道を続け頑張っています。

地元三方中、美浜中、美方高の支援も重要な活動のひとつです。

一般の稽古会は年間を通し、毎週金曜日の夜八時より町武道場で行っています。男女を問わず、小・中、高校生さらに三方地区外からの参加方も交えて毎回かなりの盛会です。

その他連盟の主な行事として

- ・ 少年剣道合同合宿（十二月）
- ・ 稽古納め（大晦日十九時半より）
- ・ 寒稽古・納会（小堀杯）（一月）
- ・ 各大会の前には強化稽古会があり、本年度は特に

- ・ 嶺南剣道大会（三方地区主管）
- ・ 地方青少年剣道錬成大会（十一月）（高橋俊昭範士八段、松田勇人教士八段、中野貴裕六段による世界一を目指す指導を受ける）

- ・ 総合型地域スポーツクラブ設立準備（二十三年度設立予定）
- 等がありました。

若狭町が七年後の福井国体開催地候補市町の一つとなっていることもあり、更なる組織の強化と、代表候補選手の強化もこれからの大きな課題です。小堀精神を受け継ぎ、三方地区剣道連盟は今後とも、何事にも前向きに進んで参りたいと思っております。よろしくお願い致します。

試合結果

北信越の剣士が一堂に
全剣連主催 北信越合同稽古会

平成二十二年十二月四日（土）
於 県立武道館



師走に入っ
た最初の土曜
日、本県で全
日本剣道連盟
主催による
「北信越剣道
合同稽古会」
が県立武道館
で開催されま
した。

この合同稽古会は、全国で年間およそ

五十回程度行われているものですが、北信越地区では、今年最後の開催とあって、新潟、富山、石川、長野、そして福井の計五県から、男女あわせて一〇名以上が参加し、「交剣知愛」の言葉どおり、剣を交えながら各県の剣士が互いの剣道の研鑽を図りました。

稽古は二部構成で行われ、前半は六段以上と五段以下に分かれて、回り稽古を行いました。日ごろの稽古はどうしても同じ相手のため、双方

出方が分かり、時には馴れ合いといった場面もあると思います。しかしこの日は、久しぶりに再会する方、初対面の方など、普段とは異なる相手との真剣な稽古ができ、非常に勉強になりました。



また、後半は、富山県の山本先生、石川県の末平先生、山下先生、福井県の相模先生と四名の教士八段の先生方に元立っていただき、熱心に稽古をつけていただきました。参加者は、終了の太鼓が鳴っても、稽古が止むのを惜しむように一生懸命に稽古に励んでいました。



次回の合同稽古会は、来年二月に富山県にて予定されており、今後定期的な開催されるようになります。ぜひ参加してみてください。

平成22年度 福井県 高等学校剣道新人大会

平成二十二年十一月二十日
～二十一日
於 県立武道館

本大会は、昨年度まで選抜大会予選会を兼ねていましたが、今年度より冬季選手権に選抜予選が移行しました。本大会男子個人ベスト8以上は、一月の冬季選手権で都道府県大会の選手の座をかけて再度個人戦が行われます。

本年度の新人大会、男子団体は北陸高校、女子団体は敦賀高校が優勝の栄冠を勝ち取りました。
本大会の大会結果は、以下の通りです。

▽男子団体

・一回戦

敦賀 2-0 若狭

羽水 2-0 高専

・二回戦

敦賀(代表勝) 1-1 高志

金津 3-0 福井農林

丸岡 4-1 武生工業

武生 3-2 美方

北陸 2-1 気比

三国 2-1 藤島

福井 4-0 科学技術

啓新 3-2 羽水

・三回戦

敦賀 2-0 金津

丸岡 2-1 武生

北陸 5-0 三国

啓新(代表勝) 1-1 福井

・準決勝

敦賀 2-0 丸岡

北陸(代表勝) 1-1 啓新

・決勝

北陸 3-1 敦賀



▽女子団体

・一回戦

啓新 5-0 気比

藤島 3-0 武生東

高志 4-0 若狭

・二回戦

啓新 3-0 北陸

美方 3-2 武生

敦賀 1-0 藤島

福井 3-1 高志

・準決勝

啓新(代表勝) 1-1 美方

敦賀 2-1 福井

・決勝

敦賀(本数勝) 1-1 啓新



▽男子個人戦

優勝 楠田 和未(啓新)

二位 内山田朋弥(福井)

三位 林 光太郎(北陸)

宮本 隆史(敦賀)

▽女子個人戦

優勝 柳原 有花(啓新)

二位 増田 成美(武生)

三位 吉寄 友梨(武生)

金子 真利(北陸)



女子個人戦



男子個人戦

秋季中体連

平成二十二年十月三十日(土)
於 敦賀市中郷体育館

▽男子団体

優勝 三方中学校

二位 明道中学校

三位 今庄中学校



▽女子団体
 優勝 藤島中学校
 *今大会 初優勝
 二位 鯖江中学校
 三位 三方中学校
 三位 明倫中学校



三位 越前中学校

・一年の部
 優勝 山本 零司(松陵中学校)
 二位 高柴慶一朗(明道中学校)
 三位 岡田悠貴彦(成和中学校)
 三位 小荒 浩夢(越前中学校)
 五位 妙願 淳也(上庄中学校)
 五位 中村 匡佑(三方中学校)
 五位 網田 浩人(河野中学校)
 五位 高木 龍斗(今庄中学校)



▽個人戦男子
 ・全学年の部
 優勝 高野 将宏(東陽中学校)
 二位 河原 悠真(三方中学校)
 三位 中田 隆翔(明道中学校)
 三位 山田 直輝(鯖江中学校)
 五位 小川 夢大(武生一中学校)
 五位 荒木 穂高(越前中学校)
 五位 佐々木良崇(明倫中学校)
 五位 寺山 雅也(武生一中学校)



▽個人戦女子
 ・全学年の部
 優勝 鈴木香菜子(三方中学校)
 二位 内山田 楓(明倫中学校)
 三位 市村 真希(菅原中学校)
 三位 五十嵐理紗(丸岡中学校)
 五位 飯塚 麻貴(鯖江中学校)
 五位 坂本 菜子(三方中学校)
 五位 藤本 奈々(三方中学校)
 五位 伊藤 千紘(鯖江中学校)



▽柔道
 ・団体の部
 Aブロック
 優勝 北陸電力(株)B
 二位 株アイビックス

平成22年度 福井県実業団
 柔道・剣道大会
 平成二十二年十一月七日
 於 福井県立武道館



・一年の部
 優勝 杉田 もも(角鹿中学校)
 二位 田崎樹理亜(松陵中学校)
 三位 小林 南穂(永平寺中学校)
 三位 宮下 夏季(武生二中学校)
 五位 宮澤 由依(明倫中学校)
 五位 早瀬 夏貴(足羽第一中学校)
 五位 墨崎 有美(鯖江中学校)
 五位 遠藤 栞(丸岡中学校)

三位 福井刑務所A
Bブロック

優勝 有限会社みね
二位 越前市柔道連盟
三位 春江柔道クラブ

・個人の部

男子三段以上

優勝 玉山 一鷹(有)みね
二位 佐々木宏治(春江柔道クラブ)
三位 瀧波 大輔
(福井県柔道整復師会)

男子初・二段

優勝 岩城 孝祐(北陸電力株)
二位 門前 雄大
(福井県柔道整復師会)

三位 野崎 健吾(北陸電力株)

男子段外

優勝 榎谷 拓幸(福井刑務所)
二位 林 将義(福井刑務所)
三位 小山 英之(福井刑務所)

▽剣道

・団体の部

Aブロック

優勝 堀田商店
二位 関西電力株
三位 福井県庁

Bブロック

優勝 株アイビックス
二位 株マルツ電波A
三位 アイテック株

・個人の部
男子三段以上

優勝 今村 祐樹(堀田商店)
二位 小堀 将年(株アイビックス)
三位 菱田 尚人(さんどりあ)

男子二段以下

優勝 村井 達弥(東洋紡株)
二位 浜崎 裕太(さんどりあ)
三位 野路 光総(木村薬局)

女子三段以上

優勝 谷口 典子(信越化学工業株)
二位 安原 真紀
(東レ・ダウコーニング株)

女子二段以下

優勝 土田 沙織(アイテック株)
二位 竹内 智子(福井県庁)
三位 水野 洋子(ことぶき)

第29回 敦賀市長旗争奪
福井県少年剣道錬成敦賀大会

平成二十二年十一月二十三日(火)
於 敦賀市総合運動公園体育館

県内の小学生五十二チームが参加し開催されました。この大会は県内の小学生の大会では唯一、勝ち抜き方式による団体試合ということもあり、普段の大会とは違った試合方法に各コート白熱した試合が展開され

ていました。なお、六人の選手が五人抜きを達成しました。

▽試合結果

優勝 敦賀市剣道スポーツ少年団A
準優勝 鯖江剣道スポーツ少年団A
三位 福井東部少年剣道教室A
三位 丸岡剣道スポーツ少年団A



少年剣道芦原大会

平成二十二年十二月五日(日)
於 あわら市トリムパーク金津

平成二十二年十二月五日(日)にあわら市トリムパーク金津において少年剣道芦原大会が開催されました。熱戦の結果 団体戦においては、武

道学園剣道教室が二回目の優勝を遂げました。

▽試合結果

・団体の部
優勝 武道学園剣道教室A
二位 鯖江志士樹館A
三位 新風館愛宕坂道場
三位 丸岡剣道スポーツ少年団A



・男子個人の部

一位 馬淵 稜也
(敦賀剣道スポーツ少年団)
二位 道内 将誉(福井東部少年剣道教室)
三位 橋本 佳祐(鯖江泰成館道場)
三位 堀端 海斗(新風館愛宕坂道場)

第23回 福井県居合道大会

平成二十二年九月五日(日)
於 福井県立武道館

九月五日(日)、福井県立武道館において第二十三回福井県居合道大会

・女子個人の部

一位 中山 知実
(木田剣道スポーツ少年団)

二位 山崎 愛華
(木田剣道スポーツ少年団)

三位 菅原 初音 (越前少年剣道クラブ)
小林 優里
(志比剣道スポーツ少年団)

男子個人の部▶



◀女子個人の部

が開催され、中学生二名を含む約四十名が参加した。

団体戦においては、自由技二本に、指定技全剣連居合三本(受け流し、三方切り、総切り)、個人戦においては自由技二本に、指定技全剣連居合(後ろ、諸手突き、四方切り)によりその技の完成度が競われた。



団体戦は越前市剣道連盟Aと鯖江武陵館中嶋道場Aとの決勝戦となったが、高段者で揃えた越前市剣道連盟Aが3対0で鯖江武陵館中嶋道場Aを退け優勝を飾った。

また、個人戦 式段の部では、西森英雄君が中学生でありながら、一般に負けない堂々とした技を披露し二位に輝いた。

試合は昼食をはさんで二時半まで繰り広げられ、試合後、玉村伸治先生(七段)ほか五段以上の者が演武を行った。

▽大会結果

〔団体戦〕

- 優勝 越前市剣道連盟A
- 二位 鯖江武陵館中嶋道場A
- 三位 丹生地区剣道連盟
- 鯖江武陵館中嶋道場B

〔個人戦〕

初段以下の部

- 優勝 辻崎 正則 (越前市剣連)
- 二位 楠 敬宣 (越前市剣連)

式段の部

- 優勝 齋藤 佳男 (鯖江剣連)
- 二位 西森 英雄 (武生第一中学)

三段の部

- 優勝 高橋 滋 (丹生剣連)
- 二位 三田村信夫 (丹生剣連)

四段の部

- 優勝 大島 雅則 (越前市剣連)

(報告 伊川 勇生)

「剣居一体」の中学生

越前市の中学生、西森英雄君(武生第一中学校三年)は、八月に行われた剣道並びに居合道の昇段審査において、共に式段に合格しました。これは福井県の中学生では始めて



のことで、西森君の今後の活躍が期待されます。

剣道は小学一年生から、武生西剣道スポーツ少年団に入団して、山本聡実先生、中村圭三先生らの指導を受け、居合道は、中学一年生から、越前市武道館や神山小学校で稽古を重ねてきました。武生一中剣道部では副キャプテンを務め、部活動の要として顧問の朝倉先生の信頼も厚かったようです。

昨春秋には、富山凌雲館居合道演武大会に出場するなど、意欲的であり、自分の進むべき道をしつかり見据えて今後の躍進を願うところです。

ねりんピック石川2010

平成二十二年九月十九日(日)
於 大阪市舞洲アリーナ

本県の本大会における成績は、ベスト16でありました。当初の目標であった予選リーグを突破できましたことは、一定の評価ができるものと

考えております。決勝トーナメントでは、石川県Aチームに敗れ、ベスト8に進むことはできませんでした。本大会の出場チーム数は、六十四チームで、本県が組み込まれていた第四ブロックには、青森県・栃木県・山梨県・広島市がエントリーされていました。変則リーグ戦で、それぞれのチームは二回対戦し、各ブロック成績上位一チームが決勝トーナメントに進むというものであります。第四ブロックは、各試合とも、手に汗を握る接戦が続き、最後の最後まで、どのチームが抜け出すかわかりませんでした。

このような状況下の中で、栃木県とは、1-1の本数勝ちで僅差勝利し、広島市とは2-1で制し、勝ち点2をもぎ取りました。

最終的には、勝ち点2を上げているチームは、本県のみということになり、予選リーグを抜け出すことができました。

本大会において、決勝トーナメントまで駒を進めることができましたのは、六人のチームワークの良さ、本大会まで稽古の相手をして頂いた諸氏のお蔭であると感謝しております。



▽試合結果

・予選リーグ

福井県	5 / 2	3 / 2	広島市
先鋒	松井	×	中田
次鋒	松本	メメ	中村
中堅	横山	コメ	高本
副将	小西	ーメ	永田
大将	井上	メーメメ	木村
福井県	2 / 1	1 / 1	栃木県
先鋒	松井	×	堀井
次鋒	松本	メメ	樋口
中堅	横山	×	佐藤
副将	小西	ード	丸山
大将	井上	×	中島

*福井二勝で第四ブロック一位で、決勝トーナメントへ

・決勝トーナメント一回戦

福井県	0 / 0	5 / 3	石川県A
先鋒	松井	ーメメ	大浦
次鋒	松本	×	南
中堅	横山	×ココ	斉藤
副将	小西	ーコ	高嶋
大将	井上	×	組橋
優勝	石川県A		
二位	石川県B		
三位	石川県C		
三位	北海道		

第9回 宮本武蔵顕彰 女子剣道大会 お通杯

平成二十二年

十月二十三日(土) 練成会

二十四日(日) お通杯

会場 岡山県美作市

宮本武蔵顕彰武蔵武道館

今年には六人の女性剣士が集まり、初の二チームでの出場となりました。お通杯は私にとって一般の女性の方と行く初めての遠征となりました。一泊二日の日程で、一日目の午前中は武蔵の里を散策し宮本武蔵神社で必勝祈願し、午後からの稽古会に挑みました。稽古会では、八段の先生方や女性の高段者の方と剣を交えることができ、とても貴重な経験をさせていただきました。



そして!!行ってびっくり!!稽古で疲れ果てた私たちを待っていたのは、絵本の中にあるようなかわいいお家でした。そのお家のご夫婦の最高のおもてなしとおいしいお料理に、疲れなんか吹き飛んでしまいました。夜は同じ女性として話が弾むことも多々あり相談にのってもらうなど、みなさんとの心の距離がぐんと近づいた気がします。

二日目の大会は、良い結果は残せませんでした。この遠征をきっかけに、女性剣士の集いという女性だけの稽古会などにも声をかけていただけるといいかな、女性の方と稽古する機会も増えました。

もつともつと女性剣士の輪を広げ、来年はたくさんの方々と一緒にチームを組み剣を交え、剣道をみんなで楽しくやっていけたらな...と思います。

(記：堀端 愛)

▽試合結果

◎団体戦 一〇〇歳以下の部

先鋒	堀端	愛
中堅	江指	恵
大将	檜原	陽子

☆対戦結果

一回戦

対 城東OG会A (岡山県)

1-1 本数勝ち

二回戦

対 一文字会 (石川県)

0-3 敗退

◎団体戦 一〇〇歳以上の部

先鋒 道内由佳里

中堅 小寺みゆき

大将 遠山 証子

☆対戦結果

一回戦

対 星剣会A (兵庫県)

2-0

二回戦

対 くさなぎ会 (愛知県)

0-1 敗退

◎個人戦

・十八〜二十九歳の部(一九九名参加)

堀端 愛 一回戦不戦勝

二回戦敗退

・四十〜四十九歳の部(一六四名参加)

榎原 陽子 一回戦不戦勝

二回戦敗退

江指 恵 一回戦不戦勝

二回戦敗退

道内由佳里

遠山 証子 一回戦敗退

一回戦不戦勝

・五十〜五十九歳の部(四十九名参加)

小寺みゆき 一回戦不戦勝

三回戦敗退

(ベスト16)

平成22年度 女性剣士の集い

平成二十二年十一月二十七日(土)

於 丹生郡越前町立

朝日小学校体育館

越前市の谷口典子六段を講師に、講習会・稽古会を行いました。

最初の日本剣道形の講習では、太刀の形五本を中心に、特に間違えやすい点を重点的に教えていただきました。中盤の基本練習では、大事な点をその都度指導していただきました。そして、最後は基本をもとに、それぞれ相手を見つけて稽古を行いました。

当初計画していた内容と若干の変更はあったものの、充実した会となりました。



りました。普段剣道形の練習ができないといった声もあつたので、

来年度もこのような会をできる範囲で計画し実施していきたいとおもいます。また、練成会や大会について

広く呼びかけ、積極的に参加する方向ですすめていこうという確認ができました。



第33回 全国スポーツ少年団 剣道交流大会福井県予選会

平成二十二年十一月二十八日(日)

於 南越前町南条小学校体育館

平成二十二年十一月二十八日(日)に南越前町南条小学校体育館において、第三十三回全国スポーツ少年団剣道交流大会福井県予選会が開催されました。

小学生の部には、十五団体からの出場があり、熱戦が展開されました。また中学生の部は、男子の部二十名

女子の部十一名の出場者があり、全国大会の出場を賭けて試合が行われました。各部で優勝したチームと個人は、平成二十三年三月二十六日・二十七日に兵庫県で開催される全国大会に出場します。

▽試合結果

・小学生団体の部

優勝 木田剣道スポーツ少年団

先鋒 後藤真之介

次鋒 山崎 愛華

中堅 清水 陽太

副将 中山 知実

大将 刀称 隼人

二位 今庄剣道スポーツ少年団

三位 越前少年剣道クラブ

・中学生男子個人の部

優勝 小河 夢大

(福井養正館スポーツ少年団)

二位 志賀 涼

(福井養正館スポーツ少年団)

三位 山田 直輝

(鯖江剣道スポーツ少年団)

・中学生女子個人の部

優勝 内山田 楓

(木田剣道スポーツ少年団)

二位 古河 望美

(立待スポーツ少年団剣道部)

三位 飯塚 麻貴 (鯖江豊剣道教室)

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

鯖江志士樹館道場

鯖江志士樹館道場は二〇〇九年一月十六日に設立した、三年目の道場です。

“志士樹”とは、同じ志を持つ者が、樹木のようにすくすくと大きく育つようにと名付けました。また、道場の旗は、“道”とし、進むべき道は、必ず周りの支えがあるのだから、支えられていることに対し感謝の気持ちを忘れず、どんなときでも、一歩ずつ前進しようという意味があります。

現在、約五十人の小、中、高校生が、毎週月曜日、金曜日の週二回稽古に励んでいます。稽古では、大きな声で自分の名前を言うことから始まりです。それは、心を込めて名付けられたら名前を堂々と言える人になっしてほしい、自分の名前、自身に自信を持って欲しいからです。稽古内容は、基本、打ち込み中心ですが、小学生と中学生と一緒に稽古するため、小学生は先輩を見て成長し、中学生は後輩の面倒を見ることで人間的に成長していることを感じ

ます。

道場の行事としては、県内、そして、県外（関東、東海、北陸、近畿地方）の大会への出場、年三回（四、八、十月）の合宿などがあります。試合では、まだ、良い結果はでていませんが、剣道を楽しみ、剣道が好きと言える子供たちが増えてきました。

その中で、最大の行事は、一年目から開催している錬成会です。五月に県内外から、約三十チームに参加いただき、二日間に渡り開催します。本年も開催予定です。



大飯地区剣道連盟

顧問	一瀬	明宏
会長	場的	輝夫
副会長	渡	久暢
理事長	猿	和義
副理事長	入	彰伸
事務局長	竹	林善

事務局 大飯郡高浜町東三松6-3-1 猿渡和義方
TEL 0770-72-6171・FAX 0770-72-6173・Eメール taketakematuri@yahoo.co.jp

した。剣道から繋がる、人との縁の素晴らしさを改めて実感しています。今後、この剣道の素晴らしさを子供たちに伝えられる道場にしていきたいです。

稽古場所 (月) 福井市清水南小学校

(金) 鯖江市片上小学校

稽古時間 十九時〜二十一時

(初心者、小学生、中学生)

指導者 杉本 隆

塚田 直人

山岸 隆昭

中村 智

内田 久仁

藤井 秀輝

廣部 結香

(塚田 直人 記)

武生第六中学校

本校剣道部は昭和四十九年春から正式に始まり、当時は、小泉宗之先生を指導者の中心に活動していました。また、昭和五十四年には女子団体で県の初優勝を勝ち取り、その後全国大会出場の輝かしい成績も残っています。

現在、一年生男子二名、女子五名、二年生男子四名の計十一名で活動しています。活動は平日四回、土曜日一回を基本としています。体育館を、

他の部活動と交代で使用するため、防具を着けての稽古は平日三回しかできませんが、常に気迫を持って、短い時間で息が上がる中身の濃い稽古を心がけています。

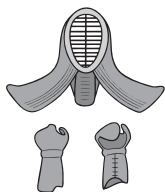
部員十一名のうち十名が中学校から剣道を始め、最初は小学校からの経験者との差が大きくありましたが、今では、堂々と試合や稽古ができるようになり、一人

ひとりが自信を持てるようになってきました。秋の新人大会では、女子団体が一年生のみメンバーで地区優勝を果たし、県大会に出場させてもらいました。この経験も部員にとってはとても励みになり、新しい目標が持てるようになりました。部活動として、部員一人ひとりとしてまだまだ課題はたくさんありますが、この課題を一つ一つクリアできるように日々精進していきたいです。

今後もお家の方をはじめ、六中剣道部を支えて下さるすべての人への



感謝、そして、健康で剣道をさせていた、ただけることへの感謝を忘れず、「剣道の成長」と共に「人として成長」ができるように部員全員で努力していきたいと思えます。



有限会社 福舞工業

代表取締役 猿 渡 和 子

福井県大飯郡高浜町東三松6-27-2

TEL 0770-72-6171

FAX 0770-72-6173

丸岡中学校剣道部



丸岡中学校剣道部は、世阿弥の『風姿花伝』にある「守破離」を道場に掲げております。「守破離」とは物事を学び始めてから、独り立ちしていくまでの三つの段階のことです。①指導者の教えを守ること、②指導者の教えを守るだけでなく、自分独自に工夫して、指導者の教えになかった方法を自分なりに試してみること、③指導者のもとから離れ

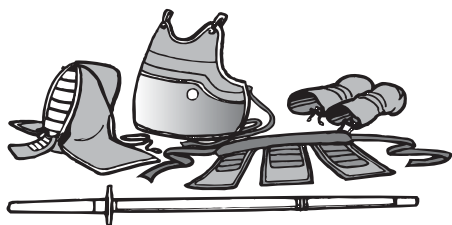
て、自分自身で学んだ内容を発展させること、この三つを目標に日々稽古に励んでおります。

部員は、男子八名、女子二名の計十人です。部員の半分が初心者であるため、まだまだ未熟な面が多くあります。しかし、部員全員が強くなりたい、上手くなりたいという強い気持ちを持っており、厳しい稽古にも弱音を吐かず、毎日汗を流しています。また、学校の部活動だけでなく地域の活動にも積極的に参加しています。丸岡剣道スポーツ少年団や丸岡南中学校、丸岡高校、丸岡剣道連盟、坂井地区錬成会の稽古に参加して、己の剣に磨きをかけています。

また、学校生活や家庭生活の充実こそが、剣道を通して成長できると考え、「大きなあいさつをしよう」ということを日々大事にしています。誰よりも早く大きなあいさつをすることが、物事の準備や心の充実につながります。何事に対しても「先」をとることを忘れず、集中して活動に取り組んでいきたいと思えます。

今後とも保護者の皆様をはじめ、支えてくださる多

くの方々への感謝の気持ち忘れず、精進していきますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。



産業火薬取扱・花火打上・イベント・サイン・プリント



(株)一瀬エンタープライズ

<http://www.ichise-enterprise.com>

本社／福井県大飯郡高浜町宮崎73-6-4
 〒919-2225 TEL.0770-72-7222 FAX.0770-72-7221
 小浜営業所／福井県小浜市遠敷118-17-1
 〒917-0241 TEL.0770-56-4025 FAX.0770-56-3993

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十二年十一月二十三日(火)

於 県立武道館

「初段」 四十二名

- 松村 剛志 (明道中)
- 大嶋 将史 (三国中)
- 三好 凌 (武六中)
- 安達 一生 (池田中)
- 駒本 和之 (芦原中)
- 廣田 雄地 (池田中)
- 鰐淵 伸之祐 (永平寺中)
- 青山 知樹 (朝日中)
- 谷口 達海 (芦原中)
- 齋藤 修平 (春江中)
- 長谷川 雄大 (坂井中)
- 長谷川 直哉 (永平寺中)
- 長谷川 直哉 (永平寺中)
- 谷口 貴俊 (武六中)
- 勝本 和佐 (森田中)
- 吉江 遼馬 (金津中)
- 馬淵 貴大 (松陵中)
- 江戸 直人 (池田中)
- 網谷 将人 (春江中)
- 小林 稔大 (永平寺中)
- 柳澤 隼一 (森田中)
- 伊藤 多聞 (永平寺中)
- 加藤 慎也 (明倫中)
- 中島 大輔 (科技高)
- 松谷 将平 (福井高)
- 宮川 裕史 (警察官)

「貳段」 十七名

- 川端 正英 (福井地区)
- 古市 奈央 (坂井中)
- 五十嵐 理紗 (丸岡中)
- 白石 遥 (芦原中)
- 大嶋 若菜 (丸岡南中)
- 浅田 成美 (芦原中)
- 宮浦 千明 (足羽一中)
- 林 夏海 (成和中)
- 早川 理紗 (成和中)
- 足田 優海 (至民中)
- 萬田 ちはる (藤島高)
- 米谷 由依 (藤島高)
- 松本 夏音 (金津高)
- 岸 和実 (藤島高)
- 西村 瑠衣 (北陸高)
- 土屋 あい (福井大)
- 関口 真貴子 (福井大)
- 前田 裕文 (丸岡南中)
- 大橋 祐也 (武一中)
- 竹内 友哉 (鯖江中)
- 森長 剛志 (福井高専)
- 幸道 健吾 (羽水高)
- 竹内 洸太 (敦賀比高)
- 三橋 佑介 (羽水高)
- 青木 誠一 (大野東高)
- 中川 大介 (金津高)
- 平田 亘 (丸岡高)
- 田中 昂平 (敦賀比高)
- 新屋 智則 (春工高)
- 木村 友貴 (丸岡高)

「参段」 十五名

- 松島 安希 (福井高)
- 三好 光子 (藤島高)
- 高橋 美聡 (県立大)
- 小林 愛美 (県立大)

「四段」 三名

- 橋詰 和昭 (美方高)
- 大久保 直輝 (福井高)
- 小林 哲也 (藤島高)
- 河原 美来 (美方高)
- 珠村 怜 (福井高)
- 松陰 高大 (福井高専)
- 佐藤 隆太郎 (福井工大)
- 杉田 洋介 (福井大)
- 中島 駿 (福井高専)
- 篠原 元 (福井大)
- 安川 聡浩 (大野地区)
- 富永 夏帆 (福井高)
- 北川 藍 (丸岡高)
- 鈴木 宏依 (福井大)
- 中嶋 早百合 (坂井地区)

「五段」 五名

- 立井 和幸 (三方地区)
- 泉田 茂 (敦賀地区)
- 宮腰 茂雄 (坂井地区)
- 長谷川 峻右 (警察官)
- 頭庄 大介 (三方地区)
- 上谷 幸男 (坂井地区)
- 宮本 徹也 (福井地区)

渡辺 政治 (鯖江地区)

居合道段位審査会

十一月二十日

於 江戸川区スポーツセンター

「七段」 一名

玉村 伸治 (越前地区)

剣道称号審査会

十一月二十四日

於 日本武道館

「教士」 一名

中西 泰平 (三方地区)



ペンリレー

女性剣士の部屋

坂井地区剣道連盟 小寺 みゆき

私が剣道を始めたのは高校一年の時でした。当時は、毎日稽古しているのが数名だけの、試合があると集まるような気楽な剣道部でした。そのような部活でしたから、私は卒業すると同時に自然と剣道から離れてしまいました。

それから二十年。長男が春江スポーツ少年団剣道部に入ると、私は子どもの試合の応援で燃えるようになりました。そして、年々上達していく息子の姿を見ているうちに、自分も剣道をしたという気持ちがあふつと湧いてきたのです。しかし、一人で剣道を再開することに不安と迷いがありました。けれども、夫の「もう一度やってみたら」という言葉に後押しされて、私は二男の入団とともに春江剣道連盟に入ることになりました。その後、春江の先生方には一から教えていただき、本当にお世話になりました。

そして今年、念願の昇段試験に合格できました。何度も落ちましたが、その都度、先生方からアドバイスをいただき、勉強させていただきました。特に、一緒に稽古をしている仲間から「あきらめないうで受け続けなあかんよ。」と言われたことが一番の励みになりました。

現在、息子たちは卒業してしまいましたが、私は相変わらず春江の子どもたちと稽古を楽しんでおります。また、自分が出られるような試合があれば、それを目標に稽古しています。

これからも周りの方々に感謝の気持ちを忘れず、前向きに剣道を続けていきたいと思えます。



平成23年2月～3月 事業計画

期日	曜日	事業名	場所	開催者	備考
2 / 5～6	土～日	北信越高校剣道新人大会	富山県	北信越高体連	
6	日	第5回福井県ジュニア育成強化剣道大会	県武道館	県剣連	午前9:00から
11	金(祝日)	世界一剣道教室	フェニックスプラザ 藤島高	県剣連	午前9:00から
13	日	剣道段位審査会	越前市	県剣連	
20	日	居合道合同稽古会	越前市	県剣連	
3 / 5	土	常任理事会 (Am10:00) ・ 審議会 (Pm13:00)	県武道館	県剣連	
20	日	国体指定選手選考会	県武道館	県剣連	午後13:00から
20	日	理事会 ・ 評議員会	福井市	県剣連	午後13:00から
26～27	土～日	第33回全国スポーツ少年団剣道交流大会	兵庫県	日体協	
27～28	日～月	第20回全国高校剣道選抜大会	春日井市	全剣連	

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL (0776)28-6616